

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10585005				
授業名	社会貢献と地域活動 C	形態	講義	単位	2
担当教員	山下 興一郎				
開講学期	2019年度 後学期	曜日・時限	水曜3限		
授業目的	福祉、保育、介護、保健医療、教育、コミュニティ、環境など、地域社会の課題解決について、自発的に取り組むことができるよう、社会貢献や地域活動の考え方と実際について理解する。私たち一人ひとりが社会の一員として、そこ暮らし人や家族、地域社会、国際社会に関心を持ち、活動する際の知識や態度、実際の取り組み方を学ぶことにより、社会の維持・発展のために積極的にかかわってゆく力を養うことを目的とする。				
授業内容	授業目的に沿って、講義は最小限とし、テキスト講義、事例教材を用いる。少人数グループでのディスカッション、コミュニケーションを通して、大学生として、そして、卒業後の社会人として必要な知識、技術、姿勢を涵養できるよう授業を展開していく。				
到達目標	社会貢献・地域活動の基本的考え方を理解し、説明できる。 社会貢献・地域活動の実態を理解する。 社会貢献・地域活動に実際にかかわる力を養う。				
ディプロマポリシーとの関連性	<DP1-(4)> 人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。				
授業形態	基本的には講義形式で進めるが、事前、事後学習の発表を取り入れながら、アクティブラーニングの手法を活用し、ディスカッションなどを取り入れ授業を展開する。マイクを回し、学生には毎回発言を求める。テーマに即し、グループ討議は毎回行うことを前提とする。第7、14回に非営利組織スタッフ、新聞記者等を外部講師（ゲストスピーカー）として招聘する予定。 ※外部講師招聘日は外部講師の都合により変更の可能性があります。 【実務経験のある教員による授業科目】 本科目は、実務経験のある教員による授業科目です。 詳細は以下をご参照ください。 実務経験のある教員による授業科目一覧				
事前・事後学習の所要時間	講義時間30時間（2時間×1コマ×15週）＋事前事後60時間（第1～15回目授業までの総合計）				
テキスト	『人 わが師 わが友』阿部志郎（全国社会福祉協議会）				
評価方法	授業内容の理解度（事前学習、事後学習、授業内での記入提出物の内容）と受講態度（個人発表の内容、グループ討議への参加）を総合して評価する。				
評価基準	事前・事後レポート30点、授業内試験70点				
試験・レポート等のフィードバック	提出した課題、レポートは次回授業において講評・解説する。				
注意事項及び履修条件	予習、復習をきちんと行うこと。				

S：100～90、A：89～80、B：79～70、C：69～60、D：60未満

第1回	
事前学習	シラバス内容を把握すること。どのようなことを学びたいかレポート（A4用紙1枚：40字×30行、以降の授業回もレポートの場合は分量は同じ）にまとめてくること。
授業内容	社会貢献と地域活動の学び方、基本的考え方を理解する。
事後学習	第1回授業で学んだことをとおして、今の社会、地域で何が問題になっているかについて振り返る。
参考文献	
第2回	
事前学習	社会貢献とは、誰が、何（誰、社会問題）に対して、何を目的に、どのように行うことかについて考え、レポートにまとめてくること。
授業内容	連帯等社会貢献において重要なキーワードを理解する。
事後学習	新聞などを読み、今、支えたいと思った社会的課題は何かを考える。
参考文献	
第3回	
事前学習	地域におけるボランティア活動の具体例を説明できるよう調べ、レポートにまとめてくること。
授業内容	ボランティア、支援を受ける人の関係性を学び、その中で何が大切なのかを考える。
事後学習	ボランティアについて、相手のため、自分のためを問うのではなく、相手と共に考えることが大切であるということを説明できるようまとめる。本授業に関係する、本学学祖の言葉をレポートにまとめ

る。

参考文献	
------	--

第4回

事前学習	自分自身が実際に参加している活動、あるいは、関心のある活動について、レポートにまとめてくること（要提出）。
授業内容	社会貢献、地域活動の実践について考える。
事後学習	社会貢献の意義と役割について、自らのボランティア活動への参加に結び付けてまとめる。
参考文献	

第5回

事前学習	厚生労働省「国民の社会福祉に関する活動への参加の促進を図るための措置に関する基本的な指針（社会福祉活動参加指針）」（1993年）をインターネット等で入手し質問事項をまとめてくること。
授業内容	ボランティア活動の計画的推進について理解する。
事後学習	住んでいる地元ではどのような地域活動があるのかを調べ、最も関心のある活動を取り上げ、まとめる。
参考文献	

第6回

事前学習	東京ボランティア・市民活動センター、大阪ボランティア協会のホームページを見て、関心のあった部分をレポートにまとめてくること。
授業内容	ボランティア活動を支援する団体について理解する。
事後学習	今、地域社会で問題となっていることを把握し、自分自身は何ができそうか、考えをまとめる。
参考文献	

第7回

事前学習	NPO法人たすけあいの会ふきのとう（四街道市）のホームページを見て、関心のあった部分をレポートにまとめてくること（要提出）。
授業内容	地域住民が進めていった在宅福祉に関わる活動やその特徴について理解する。 外部講師 未定 ※外部講師（ゲストスピーカー）は、90分授業の一部分のみを担当する。
事後学習	授業をとおして、改めて理解できたこと、発見したことをまとめる。
参考文献	

第8回

事前学習	善意銀行、セツルメント運動について調べ、レポートにまとめてくること。
授業内容	先人がめざした社会貢献、地域活動のとらえかた、考え方、実践について理解する。
事後学習	授業内容で、大切だと思ったことについて、自分の言葉でまとめる。
参考文献	

第9回

事前学習	介護予防を目的とした「ふれあい・いきいきサロン」活動について調べ、レポートにまとめてくること。
授業内容	地域住民同士が取り組む地域活動の意義、活動内容を理解する。
事後学習	授業で取り上げた内容について、専門職がかかわる場合の留意点について、自らの考えをまとめる。
参考文献	

第10回

事前学習	子育て支援を目的としたサロン活動について調べ、レポートにまとめてくること。
授業内容	地域における子育ての社会的支援と住民同士の地域活動について理解する。保育所、認定こども園等における子育て支援や、住民主体の子育てサロン活動の実際について理解する。
事後学習	授業で取り上げた内容について、専門職がかかわる場合の留意点について、自らの考えをまとめる。
参考文献	保育所保育指針

第11回

事前学習	社会的孤立、孤立死に関する文献や新聞報道を調べ、レポートにまとめてくること。
授業内容	社会的孤立、孤立死を防ぐための地域活動について理解する。
事後学習	授業内容を振り返り、社会的孤立、孤立死の実態とその支援の必要性について、自分の言葉でまとめる。
参考文献	

第12回

事前学習	スーブの会（東京都新宿区）のホームページを見て、関心のあった部分をレポートにまとめてくるこ
------	-----------------------------------------------

	と。
授業内容	ホームレス支援の社会貢献と地域活動の実態を理解する。 授業内試験を実施する。
事後学習	授業内容を振り返り、ホームレス問題の実態とその支援の必要性について、自分の言葉でまとめる。
参考文献	

第13回

事前学習	災害時、自らが行ったボランティア活動（ボランティア活動をしていない場合は、東日本大震災のボランティア活動についてインターネット等で調べ、印象に残ったもの）についてレポートにまとめてくること。
授業内容	被災地における生活支援を目的としたボランティア活動、企業の社会貢献活動等の実態、取り組みの視点について理解する。
事後学習	授業内容を振り返り、これから行うことが必要な被災地支援活動についてまとめる。
参考文献	

第14回

事前学習	樹恩ネットワーク（NPO法人）のホームページなどで調べ、その活動内容をレポートにまとめてくること。要提出
授業内容	環境活動、世界に視野を広げて行う社会貢献、地域活動について理解する。 外部講師 未定 ※外部講師（ゲストスピーカー）は、90分授業の一部分のみを担当する。
事後学習	授業内容を振り返り、環境、国際社会における活動について、自らが何ができるかについてまとめる。
参考文献	

第15回

事前学習	これまでの14回の授業を通して、地域社会における必要な支援や活動について、自分の言葉でまとめてレポートとしてまとめる。
授業内容	社会貢献、地域活動が、人や環境を大切に活動であることを理解する。 授業内試験の解説、授業全体の振り返りを行い、本科目の全体像を理解する。
事後学習	授業内容を振り返り、自分はどのような社会貢献、地域活動に取り組みたいか考える。
参考文献	

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p><DP-1> 【社会の構成員としての基本的知識・技能・態度】 社会生活で必要となる汎用的技能及び社会の一員として求められる態度や志向性を身に付けているとともに、人類の文化、社会と自然に関する知識について理解している。</p> <p><DP1-（1）> 日本語及び外国語によるコミュニケーション能力を身に付けている。</p> <p><DP1-（2）> 情報通信機器の活用に関する知識・技能を持ち、利用における法令順守の態度を身に付けている。</p> <p><DP1-（3）> 問題を発見し、課題を解決する能力を持ち、立案・実行過程で主体性を持って協働できる態度を身に付けている。</p> <p><DP1-（4）> 人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。</p>
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------